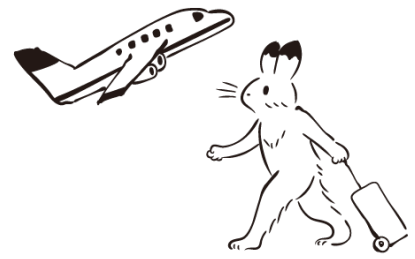


# 動詞の重ね型



## ○動詞の重ね型とは

「看看」「说说」のように同じ動詞を二回繰り返すことを動詞の重ね型と言います。動詞の重ね型は動詞単体よりも動作の時間や回数＝動作量が「少なく・軽く」なり、その結果日本語ではしばしば「ちょっと～する」と気軽な感じで訳されます。

動作の時間や回数が軽くなるわけですから、負担が減ることを意味するようにもなり、その結果誰かに何かを依頼するときにより「丁寧」な表現として扱われる時もあります。（負担が大きいよりも、小さい方が相手に優しいですからね）

また同じように「動作量が少ない→負担が少ない→気軽な感じ」と意味が派生して「試しに～する」という意味でも使われます。文章だけだとわかりづらいので例文と一緒に表にして確認しましょう。

意味1	ちょっと～する	让我想想。＝ちょっと考えさせて。 我们休息休息吧。＝私たちちょっと休みましょう。
意味2	丁寧な感じ	这个词很复杂，你给我写写。 ＝この単語は複雑なので、私に書いて見せてくれませんか。
意味3	試しに～する	这个菜特别好吃，你们尝尝吧。 ＝この料理めちゃくちゃ美味いから、試しに味見してよ。

\*「意味1/2/3」と分けましたが、いずれにしても動作量が軽くなっているという点を意識してください。

## ●重ね型のタイプと「A-A」「A了A」「A一下」などの表現

重ね型には「AA/ABAB」の2種類があり、前者は1音節、後者は2音節動詞になります。この通常の動詞の重ね型の他に同じ意味を表す形で「A-A」「A了A」「A一下」などもあります。

A-A	看一看，听一听，说一说	真ん中の「一」は轻声です。 *AB-ABの形はありません。
A了A AB了AB	看了看，听了听，试了试 收拾了收拾，帮助了帮助	已然のことに於いて使います (已然＝すでに起こったこと)
A一下 AB一下	看一下，听一下，试一下 帮助一下，收拾一下	口語では「一下」もよく使われます

\*他にも「试试看」など通常の重ね型の最後に「～看」をつけて意味3の試しに～するという意味合いを強くすることもあります。

## ○離合動詞の際の注意点

ここで動詞の重ね型は「AA/ABAB」の形をとることを学びました。しかし、ここで注意したいのは**離合動詞**の時です。離合動詞とはざっくり解説すると、本来「動詞+目的語」で構成されているものが、あたかも「2音節の動詞」であるかのように振る舞っている（ように学習者には見える）、そういう動詞のことです。

中検やHSKなどの単語帳には単語1語として扱われているが故に、それが2音節の動詞であると勘違いして覚えてしまうというのはよくあることです。（以下代表例）

说话=話をする 说+话 例：说完话	见面=～に会う 见+面 例：跟～见面	聊天 聊天 例：跟～聊天
帮忙=手伝う 帮+忙 例：帮你的忙	散步=散歩する 散+步 例：散散步	游泳=泳ぐ 游+泳 例：游泳游得真快

\* 「帮助」はABABの2音節動詞ですが「帮忙」は離合詞です。

こうした離合詞はすでに目的語の位置に成分を持っていることから、目的語をもう一つ付けたい場合、また目的語に説明を加えたいときなどは普通2個目の目的語に処理を加えます。（例を参照）→「代表的な離合詞は別紙を参照してください」

この離合動詞が重ね型になるときは当然動詞の部分を重ね型にするので以下ようになります。（上の例でも”散散步”が示す通り）

说话→说说话	见面→见见面	聊天→聊聊天
帮忙→帮帮忙	散步→散散步	游泳→游游泳

この離合動詞の重ね型にはぜひ注意しましょう。

## ○重ね型と「一下」「一会儿」の違い

次項で詳しく扱いますが中国語にも当然動作の回数や時間量を表す表現があります。その中でしばしば出てくるのが「一下」と「一会儿」の違いです。教科書等では日本語ではどちらも「少し」と載っているのですがその違いがよくわからない方も多いです。ぜひここで一度まとめておきましょう。（この項目は次項にも同じものを載せております）

一下	一会儿
動作量の程度が軽いことを表す	主に「時間量」の少なさを表す
ちょっと、少し	しばらく、ちょっとの間
看一下 →動作として「ちょっと見る/ちらと見る」	看一会儿 →時間が短く「ちょっと見る」

\* 「一下」は動作の重ね型と同じ意味合いで使うことが多いですね。